

一般質問



下久保 議員

質問

一、市政概況報告では、今福地区のまちづくりについて、東部工業団地（仮称）整備事業にからめて将来的な雇用創出に向けた計画等が検討されているようだが、現時点でどのような計画になっているのか。年次計画等はいつごろまでに出せるのか。絵に描いた餅にならないよう、また、予算が無駄にならないようにして頂きたいが、市長の考えを聞きたい。

二、(1)里道の維持管理はどのように取り扱われるのか。(2)今福神社に通じる里道については、先の議会での答弁で市にとって由緒ある、歴史ある場所としながらも「専ら参道として使われている」といった表現は間違っているのではないか。(3)市のホームページでは当地を観光史跡として紹介されている。その目的は。

(4)当地は、松浦党に縁の深い史跡として、今後の松浦市観光にとってどのような位置づけになるのか。

(5)このような観点から、松浦市も同里道の受益者になると考えるが、間違いないか。

その他に玄海原子力発電所に係る安全協定などについて質問しました。

一、今福地区まちづくり行政について  
二、跨線橋に係る里道の取り扱いについて

答弁

一、今福地域は、人口減少に加えて松浦東高校の閉校、鷹島肥前大橋架橋に伴うフェリー利用者の減少で地域の活気がなくなっており、また、公営住宅も老朽化し住環境の整備も喫緊の課題です。一方、今福東部工業団地の造成を進めており、26年度には西九州自動車道山代今福間の供用開始などが見込まれています。このことから、東部工業団地の分譲面積を確保し、定住促進住宅等の整備を行うことにより雇用の確保と定住人口の拡大を図り、市全体の活性化につながるような計画を定めております。今後、財源も含めてしっかりとした実施計画を策定したい。

二、(1)従来どおり地域の受益者の方々に管理をお願いしています。(2)跨線橋が地域の利便性と活性化にも貢献しているとは言えますが、参道であるため憲法上の政教分離の観点から、行政としてはやれない状況です。(3)観光、歴史、文化など情報提供の観点から掲載しています。(4)松浦党の中でも今福は歴史上貴重な場所として将来に伝えていく必要があります。(5)市も受益者のひとりです。

一般質問



吉原 議員

質問

一、(1)ジェネリック医薬品とは何か。(2)ジェネリック医薬品差額通知書対象者は、どのような薬効分類で、負担軽減額は幾ら以上の見込みか。(3)差額通知は主に生活習慣病の治療薬に関して書かれているが、なぜか。(4)どのようにすれば、ジェネリック医薬品を処方してもらえるのか。(5)国保被保険者の薬剤代や国保財政の負担軽減に大きく寄与する。このことを、市民へどう広報していくか。

二、(1)この事業は繁殖農家の母牛の質の向上を図り、農家所得の向上に大きく寄与するすばらしい施策である。実施方針に「市内の人工授精師に配分し希望農家へ授精する」とあり、この事業の恩恵に与れない農家から不満の声が上がっている。市内の繁殖農家すべてに光を当てるべきと考えるが、どう対処されるか。

(2)耕作放棄地解消牛導入補助事業が創設され、農地や景観を維持するためには、これに勝る解消策はないとさえ考える。事業要件の中に自作地不可とあるが、自作地も含めるべきではないか。また、事業枠の拡大をすべきではないか。

一、ジェネリック医薬品への取り組みについて  
二、松浦市優良雌牛保留事業等について

答弁

一、(1)厚生労働省が製造販売の許可をしている後発医薬品のことです。(2)高血圧や糖尿病などの生活習慣病に限定した6つの薬効分類で、薬の自己負担額の削減額が100円以上見込まれる方に通知書を送付しています。(3)薬の使用の継続性があり、医薬品の中には、約3割から7割低くなるものもあって、自己負担額と医療費の削減額が大きく見込まれます。(4)ジェネリック医薬品希望カードを医療機関の窓口に出し、診察の際に相談頂ければと思います。調剤薬局に相談することも可能です。(5)保険証の更新時に、シールつきのものを配付し、保険証に貼って出せるようにしたい。また、市報や本人への通知書を出す際に勧奨できるものの配布を考えています。

二、(1)市内の家畜人工授精師に依頼をすれば対応して頂けるという協議ができています。今後も、松浦市優良雌牛保留推進協議会を通じて要請したい。

(2)自作地も対象とする方向で、要綱の見直しを行います。また、予算確保にも努めます。